

人気のあった健康関連商品

吉川 孝子

<ダブル11の負の副産物>

購買意欲を煽る11月11日の「ダブル11」、12月12日の「ダブル12」セールが過ぎ、本年は過去に例を見ない売上額があったなど様々な報道がありました。

「ダブル11」では意外にも返品率が全体の6%程度と、商品の品質や物流に対する消費者の満足度も高く、全体的に好評価を得ていたようですが一方で負の副産物として宅配業者で使用された段ボール等宅配便から出るゴミが問題となっており、現在、政府はこの副産物の処理に頭を痛めております。

多くの消費者は商品を取り出すと梱包材はすぐに捨ててしまい、自宅ですることもなければ、段ボールを廃品回収者にも売りません。段ボールの回収代金は0.8元/500gと低額であり、汚いドロドロの箱を自宅に溜めて売ろうと考える人はほとんどいないようです。

宅配用段ボールの1/4は再利用されていますが残りの3/4はゴミとして埋められたり燃やされたりしているのが現状で、宅配業者においても、この対策として「環境にやさしい業務」を目指し、中国当局から示された「環境負荷の低減」、「ゴミの量の削減」、「ごみ資源の再生」の3点の対策を講じています。

<人気を博した健康関連商品>

「ダブル11」で最も人気のあった商品が健康関連商品でありました。

地域によって関心商品は異なっておりますが、中国全土で最も人気の高かった商品がコンタクトレンズ、コンドーム、クコの実、蜂蜜などの「国民健康関連必需品」と呼ばれている商品でした。

「ダブル11」で健康の為に最も活発に消費したのは上海、北京、杭州のようですが西南地域の四川省、重慶市、雲南省でも健康商品に関する購入率は高く、関節の炎症や痛み止め関連の商品が特に人気でした。重慶市や四川省は山地が多く、加えて湿度が高い気候が主な原因となっているとのこと。

男性の人気商品はプロテイン、そして肝臓のケアと保護に関する商品（脂肪肝、肝炎、肝硬変、アルコール肝臓障害対策）、女性の人気商品としては目、肌、腸、肺のケアと保護を主な目的とした目薬、カラーコンタクト、コラーゲン、酵素、ツバメの巣などが求められており、経済発展とともに健康への関心が強く寄せられるようになっております。

広島・四川経済交流事務所への問い合わせも、中国の民間企業から「日本の健康食品を取り扱いたいので健康商品を紹介してほしい」等健康分野の要望が多くなって来ております。

また、西南地区特に重慶市と四川省の中間地点にある農村では漢方の生薬栽培が盛んで、これらの生薬の加工方法、また薬膳料理としての使用方法を日本から指導して欲しいとの要望が多くなっており、健康への関心の高まりが顕著に伺えます。